

キンモクセイ

令和6年4月12日
文責 下田

令和6年度スローガン 「子どもたちに寄り添う『チーム広西』～子どもを真ん中に～」

校長の下田真壽（しもだ まさとし）です。

長洲町立六栄小学校から異動してきました。令和元・2年度は、教頭として本校に勤務していました。元年度2月から、新型コロナウイルス感染症による休校措置、またその後の厳重な感染対策の中での学校生活では、今できることを頑張る子どもたちの姿に、私自身が励まされたことを今でも覚えています。昨年度より、制限が緩やかになり学校生活も元に戻り始めました。

その中で今年度のスローガンを「子どもたちに寄り添う『チーム広西』～子どもを真ん中に～」としました。

子どもを真ん中に、全職員の力を結集し、「チーム広西」として学校総体の教育を進めます。そして、広安西小学校740名の子どもたちに、66名の全職員が寄り添います。

保護者、地域の皆さま、そして行政もチームの一員です。子どもを真ん中に学校、家庭、地域、行政が連携・協働して寄り添っていくことが目標です。

ご支援、ご協力よろしくお願いいたします。



9日（火）入学式

131名の新入児が入学してきました。やや風が強かったのですが、子どもたちを祝福するかのよう晴天の中で式を実施することができました。

氏名点呼では大きな声で返事をする姿に、式に参加した6年児童、来賓の皆様、教育委員会、そして本校職員で心からのお祝いをしました。

翌日からは、真新しいランドセルを背負って朝から上級生と一緒に元気に登校しています。

【こんなことがありました エピソード1】

8日（月）6年生が入学式の準備を頑張ってくれました。体育館でのことです。

「校長先生のお嬢さんは下田〇〇〇さんですね？」

「えっなぜ知ってるの」

「私たちが2年生の時、自習に来て漢字ビンゴをする中で教えてくれました」

私は自習に行くと、漢字ビンゴをよくしていたので間違いありません。驚きました。すごい記憶力です。たった1回の授業の中で言った名前を覚えているその女の子に、私は本当に驚きました。

【こんなことがありました エピソード2】

朝から妙見橋で交通指導をしていると、広崎方面から来る一班の子どもたちが立ち止まって川を見ている。行ってみると1年生男子の片方の靴が川に落ちたとのこと。

網を借りてきて取るので、少し痛いかもしれないけれども頑張って歩いて行くように言いました。しばらく見ていると川に降りる階段を見つけたので、靴は無事に回収することができました。水がない場所だったので濡れてもいません。

走ってその班に追いつくと、1年生の男子は落とした方の足にぶかぶかの靴を履いているではありませんか。4年生のお兄ちゃんが貸してくれたとのこと。

お兄ちゃんのやさしさに心が温くなりました。

**登下校の見守りをしてくださっている皆様。ありがとうございます。
お世話になります。よろしくお願いいたします。**